

令和7年5月21日

# 交通事故概況

令和7年4月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

# 北海道の交通事故概況（4月末計上数（確定数））

## 1 令和7年4月末の交通事故発生状況

区分\内容	4月中		4月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	593	-6	2,644	-335
死者数（人）	4	-7	36	13
傷者数（人）	686	2	3,100	-479

[過去10年、4月中4月末の推移]

区分\年別	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	過去平均		R7年
											10か年	5か年	
4月中死者数	17	14	7	3	11	8	8	10	4	11	9	8	4
4月末死者数	43	43	30	36	30	34	32	27	24	23	32	28	32
年間死者数	177	158	148	141	152	144	120	115	131	104	139	123	

都道府県別（4月中）

順位	1	2	3	4	5	17
都道府県名	東京	大阪	茨城	埼玉	神奈川	北海道
死者数	13	12	11	10	9	4

都道府県別（4月末）

順位	1	2	3	4	5	6
都道府県名	神奈川	東京	千葉	埼玉	大阪	北海道
死者数	52	48	44	41	38	36

### (1) 4月中の死亡事故（死者4人）

- 事故類型別：人対車両が2人(50.0%)
- 道路別：国道、道道が各々2人(50.0%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点、非市街地カーブが各々2人(50.0%)
- 発生時間別：4～6時、8～10時、16～18時、18～20時が各々1人(25.0%)
- 第一当事者年齢別(第一当事者原付以上)：40歳代運転者、高齢運転者による死者が各々2人(50.0%)
- 第一当事者違反別(第一当事者原付以上)：歩行者妨害、前方不注意が各々2人(50.0%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が4人(100.0%)

### (2) 4月末の死亡事故（死者36人）

- 事故類型別：
  - ・ 人対車両が13人36.1%（うち前方不注意が5人38.5%、歩行者妨害が3人23.1%）
  - ・ 正面衝突が9人25.0%（うち操作不適、前方不注意が各々3人33.3%）
  - ・ 車両単独が8人22.2%（うち操作不適が6人75.0%、前方不注意が2人25.0%）
- 道路別：
  - ・ 国道が13人36.1%（うち正面衝突が5人38.5%、人対車両が3人23.1%）
  - ・ 道道が10人27.8%（うち人対車両が4人40.0%、正面衝突が3人30.0%）
  - ・ 市町村道が10人27.8%（うち人対車両が5人50.0%、車両単独が2人20.0%）
- 地形・道路形状別：
  - ・ 市街地交差点が11人30.6%（うち人対車両が7人63.6%）
  - ・ 市街地直線が8人22.2%（うち人対車両が3人37.5%、正面衝突が2人25.0%）
  - ・ 非市街地直線が8人22.2%（うち正面衝突が5人62.5%、車両単独が2人25.0%）
- 発生時間別：
  - ・ 4～6時が7人19.4%（うち人対車両が4人57.1%、車両単独が2人28.6%）
  - ・ 16～18時が7人19.4%（うち人対車両、正面衝突が各々2人28.6%）
- 第一当事者年齢別(第一当事者原付以上)：
  - ・ 高齢運転者による死者が10人27.8%（うち車両単独が4人40.0%、正面衝突が3人30.0%）
  - ・ 40歳代運転者による死者が8人22.2%（うち人対車両が4人50.0%、車両単独が2人25.0%）
- 第一当事者違反別(第一当事者原付以上)：
  - ・ 前方不注意が12人33.3%（うち人対車両が5人41.7%、正面衝突が3人25.0%）
  - ・ 操作不適が9人25.0%（車両単独が6人66.7%、正面衝突が3人33.3%）
- 死者年齢別：
  - ・ 高齢者の死者が19人52.8%（うち人対車両が7人36.8%、車両単独が5人26.3%）
  - ・ 50歳代の死者が5人13.9%（うち正面衝突が2人40.0%）
- シートベルト非着用者：
 

自動車（二輪を除く）乗車中の死者20人中、シートベルト非着用者は7人(35.0%)であり、その5人(71.4%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。

(2) 方面別発生状況

4月中の死者数は札幌方面が2人(50.0%)、釧路方面が1人(25.0%)、北見方面が1人(25.0%)となっている。

4月末の死者数は札幌方面が18人(50.0%)、釧路方面が9人(25.0%)、北見方面が4人(11.1%)、旭川方面が3人(8.3%)、函館方面が2人(5.6%)となっている。

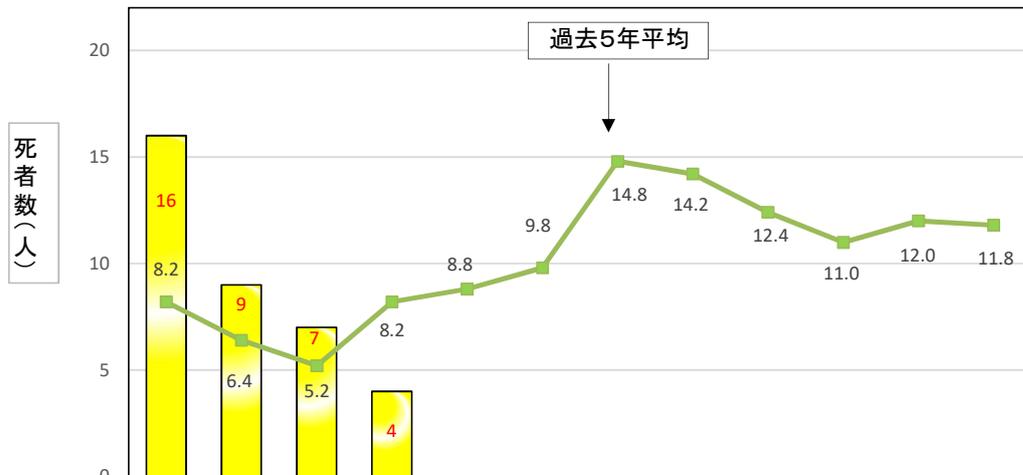
方面別\区分	発生件数	死者数		傷者数	
		前年比	前年比	前年比	前年比
全道	593	-6	4	-7	686
札幌方面	445	-5	2	-2	514
函館方面	30	-8	-2		39
旭川方面	46	-4		-3	54
釧路方面	53	2	1		58
北見方面	19	9	1		21

方面別\区分	発生件数	死者数		傷者数	
		前年比	前年比	前年比	前年比
全道	2,644	-335	36	13	3,100
札幌方面	1,944	-318	18	6	2,269
函館方面	165	11	2		210
旭川方面	255	12	3	-2	303
釧路方面	210	-50	9	8	237
北見方面	70	10	4	1	81

(3) 月別発生状況の推移

4月中の死者数は4人で過去5年平均8.2人を下回ってる。

4月末の死者数は36人で過去5年平均28.0人を上回ってる。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和7年	16	9	7	4									36
年間累計	16	25	32	36									
過去5年平均	8.2	6.4	5.2	8.2	8.8	9.8	14.8	14.2	12.4	11.0	12.0	11.8	122.8
累計平均	8.2	14.6	19.8	28.0	36.8	46.6	61.4	75.6	88.0	99.0	111.0	122.8	

(4) 都道府県別死者数

4月中は東京都が13人で最も多く、次いで大阪府が12人、茨城県が11人、埼玉県が10人、神奈川県と千葉県が各々9人、北海道は4人で17位となっている。

4月末は神奈川県が52人で最も多く、次いで東京都が48人、千葉県が44人、埼玉県が41人、大阪府が38人、北海道が36人で6位となっている。

区分\都道府県	東京	大阪	茨城	埼玉	神奈川	千葉	愛知	兵庫	静岡	愛媛	全国
4月中死者数	13	12	11	10	9	9	8	8	6	6	196
ワースト順位	1	2	3	4	5	5	7	7	9	9	—
前年比	0	5	6	5	2	-3	-5	2	2	3	0
増減率(%)	0.0	71.4	120.0	100.0	28.6	-25.0	-38.5	33.3	50.0	100.0	0.0

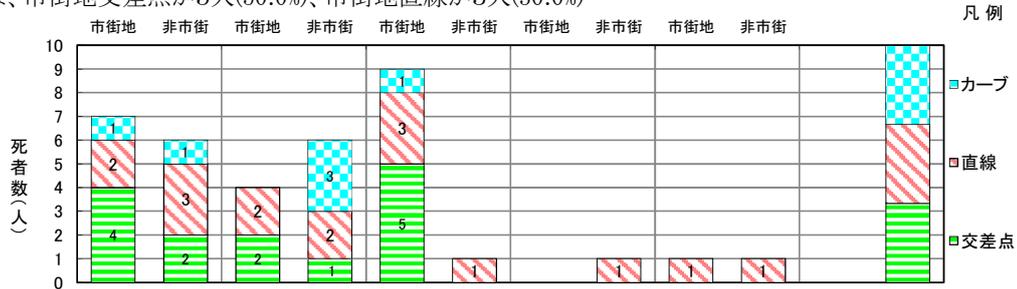
区分\都道府県	神奈川	東京	千葉	埼玉	大阪	北海道	愛知	茨城	兵庫	静岡	全国
4月末死者数	52	48	44	41	38	36	33	31	31	27	810
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	8	10	—
前年比	20	1	-3	17	6	13	-15	4	-5	3	32
増減率(%)	62.5	2.1	-6.4	70.8	18.8	56.5	-31.3	14.8	-13.9	12.5	4.1

### 3 死亡事故の特徴

#### (1) 道路別

国道が13人(36.1%)、道道、市町村道が各々10人(27.8%)となっている。

- ・ 国道は市街地交差点が4人(30.8%)、非市街地直線が3人(23.1%)
- ・ 道道は非市街地カーブが3人(30.0%)、市街地交差点、市街地直線、非市街地直線が各々2人(20.0%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が5人(50.0%)、市街地直線が3人(30.0%)

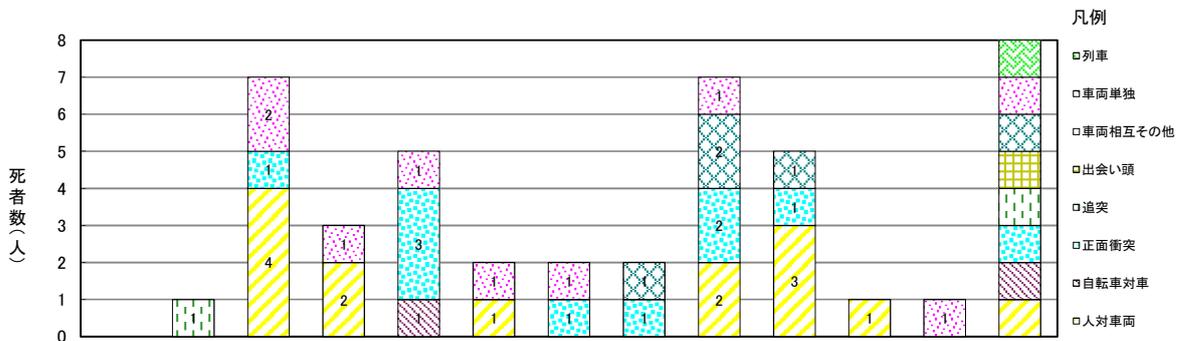


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	13	10	10	1	2	36
構成率(%)	36.1	27.8	27.8	2.8	5.6	100.0
過去5年構成率	38.6	24.3	27.9	2.9	6.4	100.0

#### (2) 時間別

4～6時、16～18時が各々7人(19.4%)となっている。

- ・ 4～6時は人対車両が4人(57.1%)、車両単独が2人(28.6%)
- ・ 16～18時は人対車両、正面衝突が各々2人(28.6%)

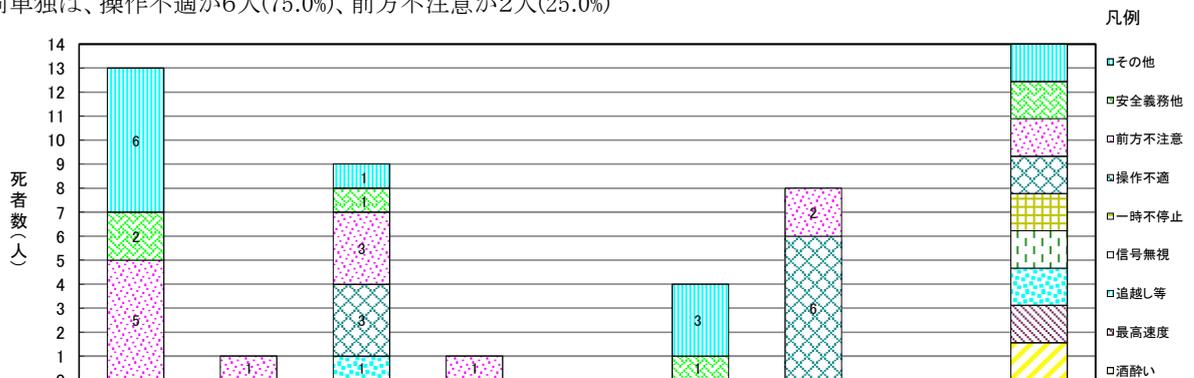


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数	0	1	7	3	5	2	2	2	7	5	1	1	36
構成率(%)	0.0	2.8	19.4	8.3	13.9	5.6	5.6	5.6	19.4	13.9	2.8	2.8	100.0
過去5年構成率	4.3	1.4	2.9	6.4	6.4	14.3	15.7	17.1	9.3	11.4	6.4	4.3	100.0

#### (3) 事故類型別

人対車両が13人(36.1%)、正面衝突が9人(25.0%)、車両単独が8人(22.2%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意が5人(38.5%)、その他(歩行者妨害が含まれる)が6人(46.2%)
- ・ 正面衝突は、操作不適、前方不注意が各々3人(33.3%)
- ・ 車両単独は、操作不適が6人(75.0%)、前方不注意が2人(25.0%)



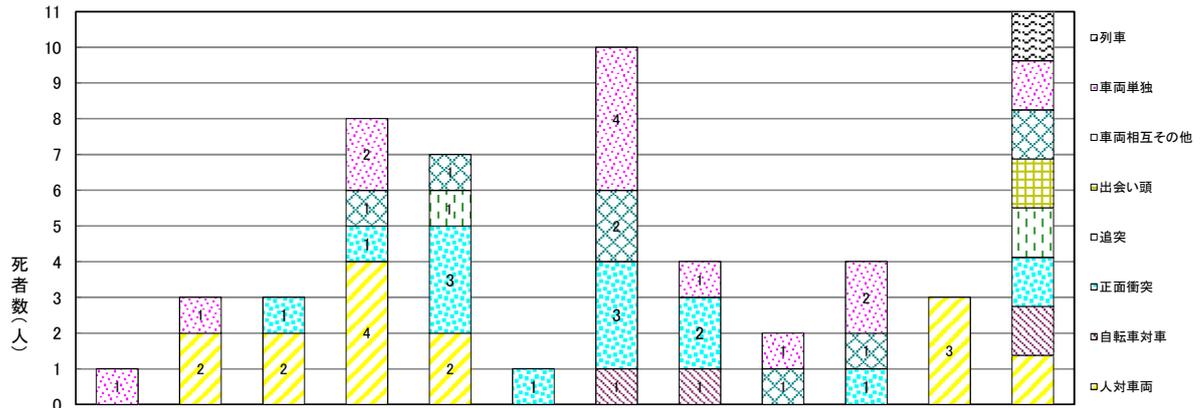
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	13	1	9	1	0	4	0	36	
構成率(%)	36.1	2.8	25.0	2.8	0.0	11.1	0.0	100.0	
過去5年構成率	32.1	2.9	22.1	0.7	12.1	2.9	0.0	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者が10人(27.8%)、40歳代の運転者が8人(22.2%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、車両単独が4人(40.0%)、正面衝突が3人(30.0%)
- ・ 40歳代の運転者は、人対車両が4人(50.0%)、車両単独が2人(25.0%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	1	3	3	8	7	1	10	4	2	4	3	36
構成率(%)	2.8	8.3	8.3	22.2	19.4	2.8	27.8	11.1	5.6	11.1	8.3	100.0
過去5年構成率	4.3	3.6	8.6	20.7	14.3	7.1	37.1	10.0	7.1	20.0	4.3	100.0

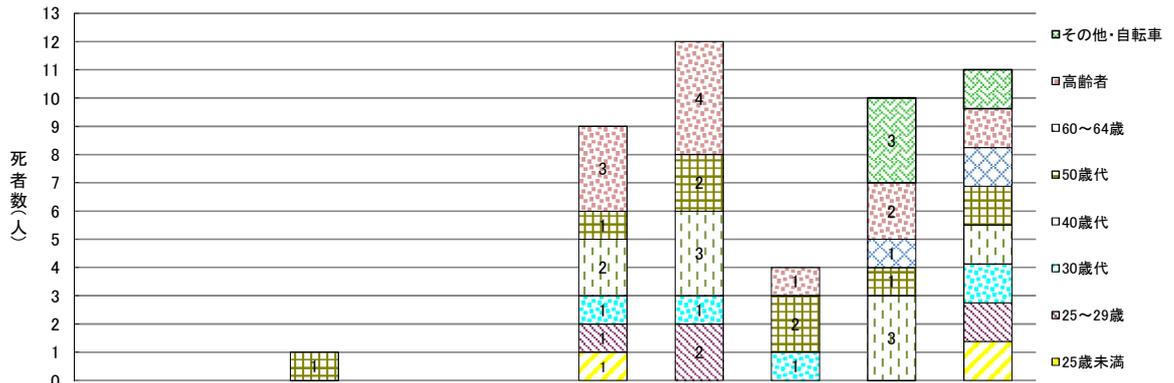
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが12人(33.3%)、次いで操作不適によるものが9人(25.0%)となっている。

- ・ 前方不注意は、高齢運転者による死者が4人(33.3%)、40歳代運転者による死者が3人(25.0%)
- ・ 操作不適は、高齢運転者による死者が3人(33.3%)、40歳代運転者による死者が2人(22.2%)

凡例



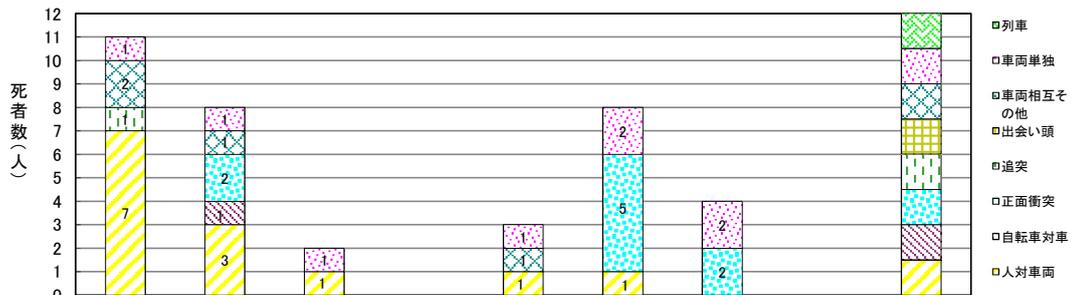
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数			1			9	12	4	10	36
構成率(%)			2.8			25.0	33.3	11.1	27.8	100.0
過去5年構成率	0.7	7.9	1.4	5.7	5.0	14.3	29.3	15.0	20.7	100.0

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が11人(30.6%)、市街地直線、非市街地直線が各々8人(22.2%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が7人(63.6%)
- ・ 市街地直線は、人対車両が3人(37.5%)、正面衝突が2人(25.0%)
- ・ 非市街地直線は、正面衝突が5人(62.5%)、車両単独が2人(25.0%)

凡例



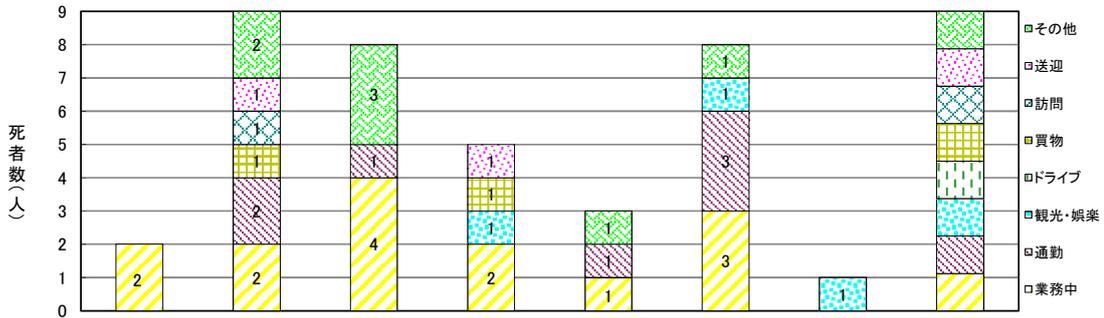
地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	11	8	2	21	3	8	4	15	36
構成率(%)	30.6	22.2	5.6	58.3	8.3	22.2	11.1	41.7	100.0
過去5年構成率	30.7	17.9	3.6	52.1	7.1	29.3	11.4	47.9	100.0

(7) 曜日別

月曜日が9人(25.0%)、火曜日、金曜日が各々8人(22.2%)となっている。

- ・月曜日は、業務中、通勤が各々2人(22.2%)
- ・火曜日は、業務中、4人(50.0%)
- ・金曜日は、業務中、通勤が各々3人(37.5%)

凡例

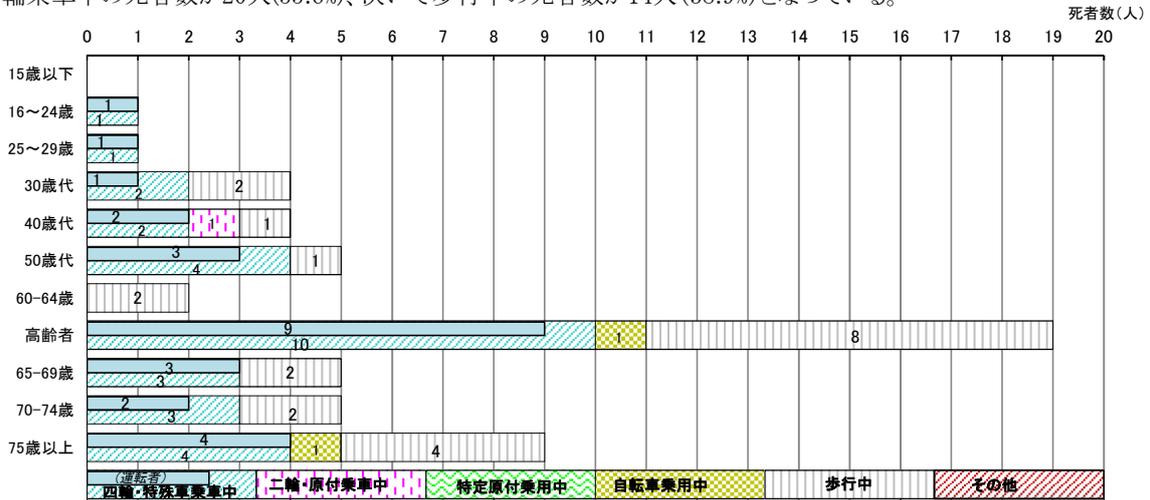


区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	2	9	8	5	3	8	1	36
構成率(%)	5.6	25.0	22.2	13.9	8.3	22.2	2.8	100.0
過去5年構成率	12.1	9.3	15.0	12.1	14.3	20.7	16.4	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者数が19人(52.8%)、次いで50歳代の死者が5人(13.9%)となっている。

四輪乗車中の死者数が20人(55.6%)、次いで歩行中の死者数が14人(38.9%)となっている。



状態別 年齢層別	死者数	四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
		15歳以下	1	0	0	0	0			
16~24歳	1	1	0	0	0	0	0	1	2.8	2.1
25~29歳	1	1	0	0	0	0	0	1	2.8	1.4
30歳代	2	2	0	0	0	2	0	4	11.1	6.4
40歳代	2	2	1	0	0	1	0	4	11.1	8.6
50歳代	4	4	0	0	0	1	0	5	13.9	12.1
60~64歳	2	2	0	0	0	0	0	2	5.6	7.9
高齢者	19	10	0	0	1	8	0	19	52.8	58.6
65~69歳	5	3	0	0	0	2	0	5	13.9	10.0
70~74歳	5	3	0	0	0	2	0	5	13.9	6.4
75歳以上	9	4	0	0	1	4	0	9	25.0	42.1
計	36	20	1	0	1	14	0	36	100.0	
		55.6	2.8	0	2.8	38.9	0	100.0		
		58.6	3.6	0	4.3	32.1	1.4	100.0		

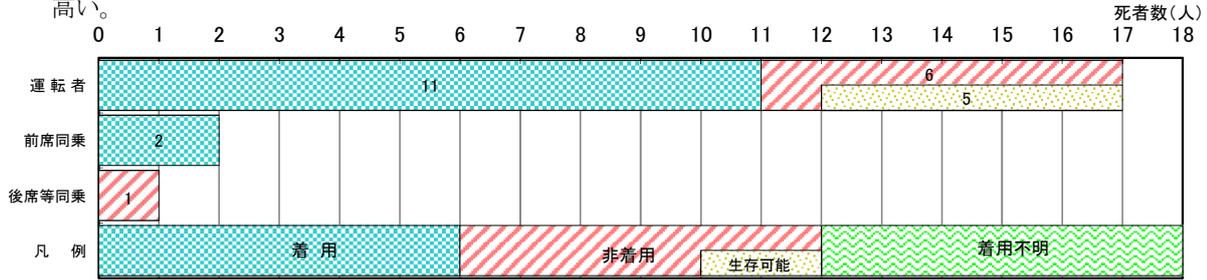
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者20人中、シートベルト非着用者は7人(35.0%)となっている。

非着用者の7人のうち5人(71.4%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用			非着用			着用不明
		計	運転者	同乗者(助手席/後部席)	計	運転者(生存可能)	同乗者(助手席/後部席)(生存可能)	
令和7年	20	13	11	2	7	6	5	1
構成率(%)	100.0	65.0	84.6	15.4	35.0	85.7	83.3	14.3

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が4人(57.1%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	その他・不明	計
シートベルト着用		1	1	2	3		6	1	3	2		13
構成率(%)		7.7	7.7	15.4	23.1		46.2	7.7	23.1	15.4		100.0
シートベルト非着用		1	1		1		4	2		2		7
構成率(%)		14.3	14.3		14.3		57.1	28.6		28.6		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者7人の損傷加害部位をみるとドア・窓、座席が各々2人(28.6%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
シートベルト着用			4		1				4	1	3		13
構成率(%)			30.8		7.7				30.8	7.7	23.1		100.0
シートベルト非着用		1	1			2		1	2				7
構成率(%)		14.3	14.3			28.6		14.3	28.6				100.0
運転者		1	1			1		1	2				6
構成率(%)		14.3	14.3			14.3		14.3	28.6				85.7
同乗者						1							1
構成率(%)						14.3							14.3

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。